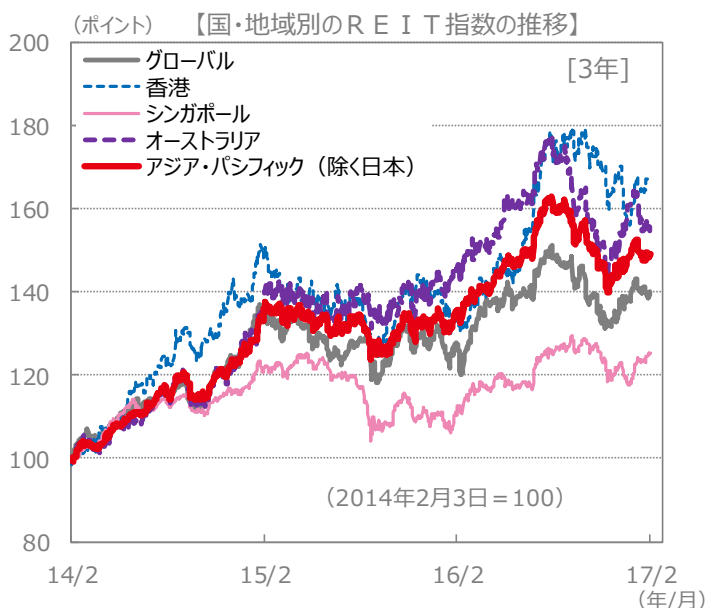
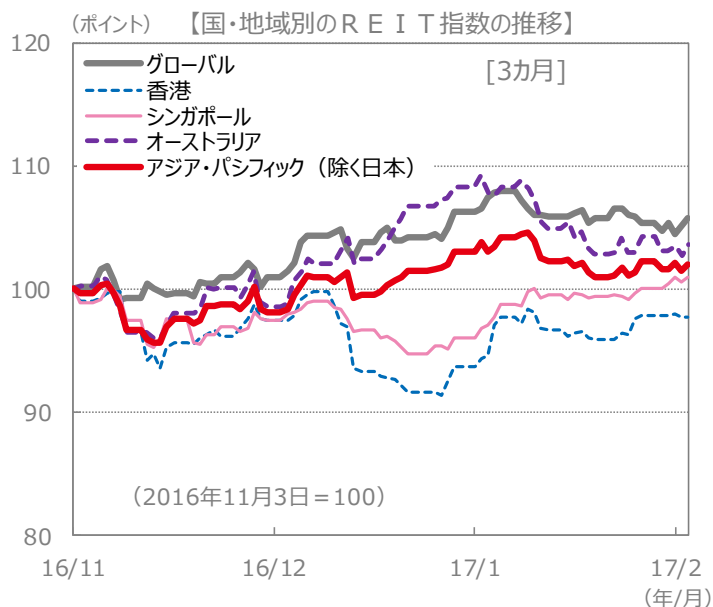


先週の振り返り

先週のアジアREIT市場は、高安まちまちとなりました。トランプ米大統領の保護主義的な政策が世界経済に与える影響が懸念され、香港、オーストラリアが軟調な展開となりました。シンガポールは、長期金利が低下するなか、相対的に高い配当利回りが好感され、続伸しました。主要なアジア通貨は、対円で下落しました。トランプ大統領のドル高けん制姿勢が意識されたため、米ドルが売られ、円高が進行したことが背景です。

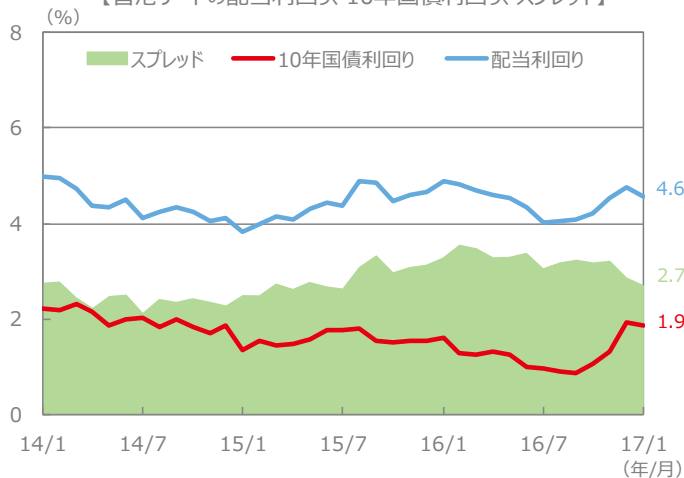


【国・地域別のREIT指数 (配当込み、現地通貨ベース) 、為替レート】

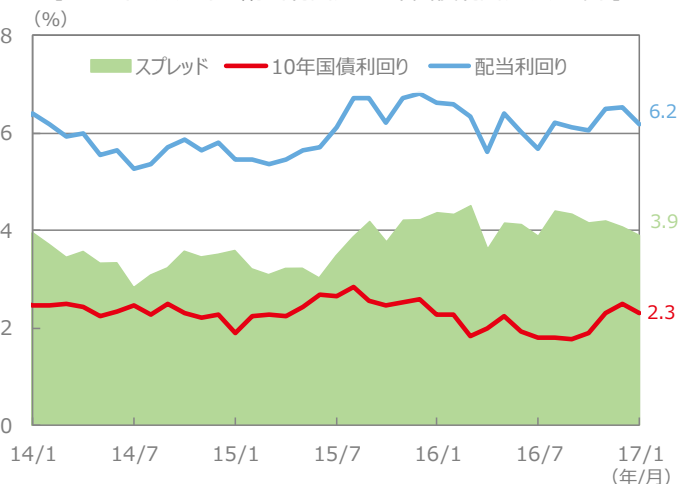
国・地域	先週末値 (ポイント)	騰落率 (%)					配当利回り (%)
		1週間	3カ月	6カ月	1年	3年	
アジア・パシフィック(除く日本)	771.26	▲0.2	2.0	▲6.5	11.1	49.1	5.1
香港	592.44	▲0.2	▲2.3	▲3.1	26.1	67.0	4.6
シンガポール	514.36	0.9	1.0	0.5	13.8	25.5	6.2
オーストラリア	642.69	▲0.6	3.6	▲9.8	7.4	55.9	4.8
グローバル	506.93	0.4	5.7	▲5.4	10.1	40.1	4.2
米国	1,187.80	0.6	7.8	▲6.4	12.7	41.9	4.0
英国	77.69	1.0	1.2	▲2.3	▲4.3	16.2	4.0
フランス	568.49	0.6	▲1.0	▲11.2	▲1.4	34.5	5.0
日本	396.65	▲1.0	4.1	1.7	3.2	36.9	3.5
為替レート (対円)	先週末値 (円)	騰落率 (%)					10年国債 利回り
		1週間	3カ月	6カ月	1年	3年	
香港ドル	14.51	▲2.2	9.2	11.2	▲4.1	11.6	1.9
シンガポールドル	79.99	▲0.5	7.5	6.0	▲4.1	1.1	2.3
オーストラリアドル	86.50	▲0.5	9.3	12.6	2.3	▲2.1	2.8
米ドル	112.61	▲2.2	9.4	11.2	▲4.5	11.5	2.5
ユーロ	121.44	▲1.4	6.2	7.6	▲7.2	▲11.1	0.4

(注) データは、左グラフが2016年11月3日～2017年2月3日、右グラフが2014年2月3日～2017年2月3日。グラフ、表ともにS&P REIT指数の国・地域別指数 (配当込み、現地通貨ベース) に基づく (次頁も同様)。配当利回りは2017年1月末、10年国債利回りは2017年2月3日終値。ユーロはドイツの10年国債利回り。為替レートの騰落率は、プラスの場合が各国通貨高・円安、マイナス▲の場合が各国通貨安・円高。
(出所) FactSet、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

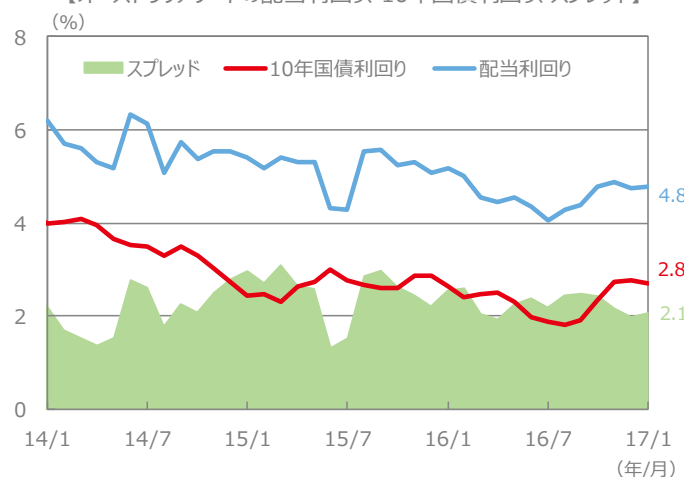
【香港リートの配当利回り、10年国債利回り、スプレッド】



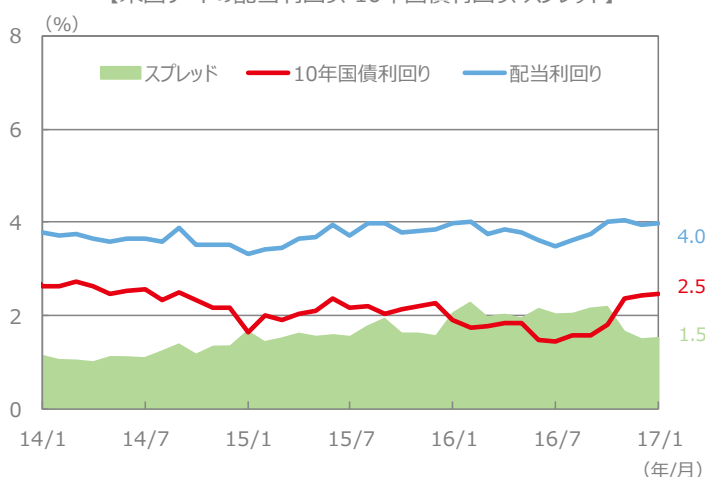
【シンガポールリートの配当利回り、10年国債利回り、スプレッド】



【オーストラリアリートの配当利回り、10年国債利回り、スプレッド】



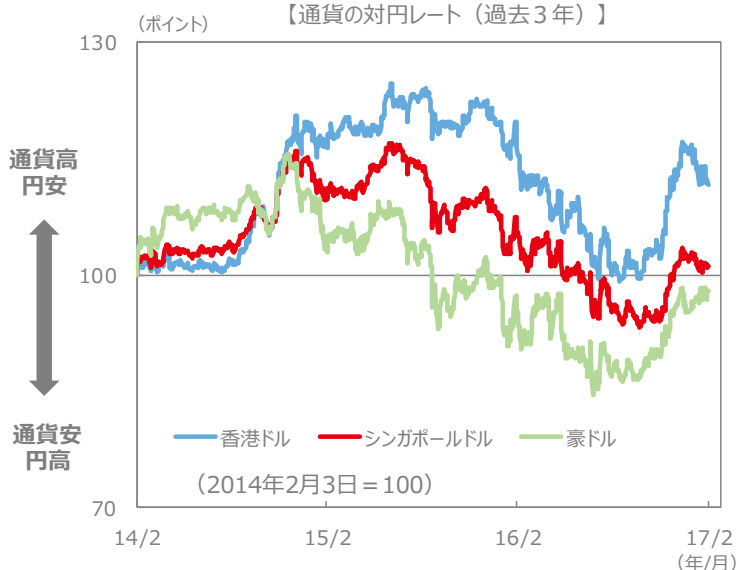
【米国リートの配当利回り、10年国債利回り、スプレッド】



【通貨の対円レート（過去3カ月）】



【通貨の対円レート（過去3年）】



(注) 配当利回り、10年国債利回り、スプレッドは、2014年1月～2017年1月（各月末値）。
 通貨の対円レートは左グラフが2016年11月3日～2017年2月3日、右グラフが2014年2月3日～2017年2月3日。
 (出所) FactSet、Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成